

あそび たいがぁ

vol.10

～2013年1・3月合併号～

雪だらうが、
寒がらうが、

子どもは元気!!

CONTENTS

P2-3 **特集** 島根県公民館研究集会
(西部会場)

P4-5 大田のイベントレポート

P6 たいがぁ～の部屋

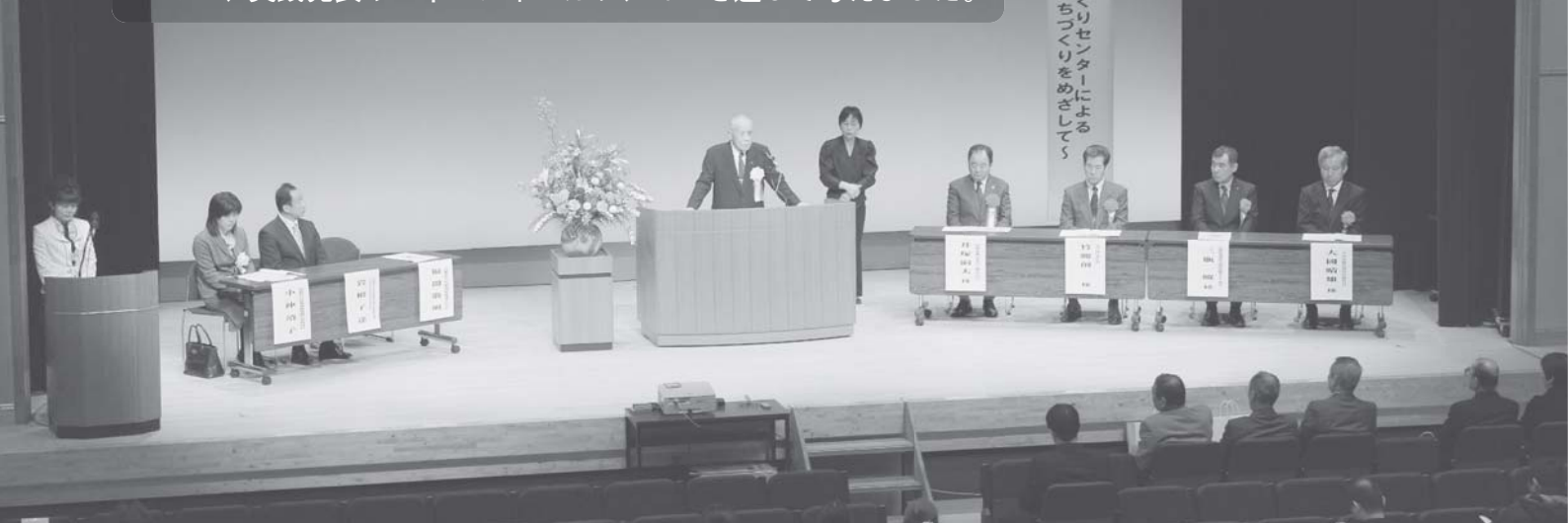
P7 あそび・イベント情報 3・4月

P8 JAPANのおおだにきています!

平成24年度 島根県公民館研究集会（西部会場）

平成25年2月17日（日）、サンレディー大田において「平成24年度島根県公民館研究集会（西部会場）」が開催され、大田市内外から432名の方が参加されました。

この研究集会では、より充実したまちづくりに向け、「公民館」と「まちづくりセンター」がどのように連携・協力していくとよいのか、実践発表やパネルディスカッションを通して考えました。



《大会テーマ》

「公民館とまちづくりセンターによる まちづくりをめざして」

大田市では、少子高齢化に伴う集落機能の低下などに対応するため、平成21年度に25公民館を市長部局所管の「まちづくりセンター」に改組するとともに、市内7ブロックごとに「公民館」を設置するという新しいまちづくり体制をスタートし、今年度で4年目となります。

近年、県内の公民館を巡っては、さまざまな動きがあり、市町村長部局に移管・改組する自治体や引き続き教育委員会が所管する自治体に分かれつつあります。

こうした中、大田市ではこれらとは異なり、県内で唯一、市長部局の「まちづくりセンター」（まちづくり推進課所管）と教育委員会部局の「公民館」（生涯学習課所管）、双方の機能を連携させた、大田市方式のまちづくりを進めてきたところです。

このまちづくり体制については昨年度見直しを行い、今後のまちづくりの方向性として、

- ①まちづくりセンター（旧町村）単位のまちづくりを引き続き支援する
- ②ブロックを単位とするまちづくりは中・長期的には必要であり、改めて各ブロックにある「まちづくり委員会」を活用しつつ、まちづくりセンター、公民館、地域住民が一層連携・協働できるようにすることとしました。

この度の「島根県公民館研究集会（西部会場）」では、平成21年度から進めてきた、大田市方式のまちづくりについて、実践発表によりその現状を報告し、パネルディスカッションで「公民館」と「まちづくりセンター」双方の意義を確認・発展させつつ、今後のまちづくりのよりよいあり方について考えました。



竹腰創一大田市長による
歓迎のあいさつ

主催／島根県公民館連絡協議会
 主管／島根県公民館研究集会大田市実行委員会
 共催／島根県教育委員会、大田市、大田市教育委員会



《実践発表》

大田市公民館連絡協議会

「学校・家庭・地域の連携による新たな地域づくりをめざして」

久利まちづくりセンター

「産直市を通じた高齢者の生きがいつくりと交流による地域力の再生！」

馬路まちづくりセンター

「観光資源を活かしたまちづくり」～情報発信と受け入れ意識の向上をめざして～

三瓶ブロック(まちづくり委員会)

「安らぎの里 三瓶高原 ―一流の田舎をめざして―」

～人と人とのつながりを大切に、また一人一人の人権を尊重し、守る地域づくりを～



林 弘延さん
 (大田市公民館連絡協議会 東部公民館)



安田拓志さん
 (久利まちづくりセンター)



石橋哲一郎さん
 (馬路まちづくりセンター)



藤井好文さん
 (三瓶ブロックまちづくり委員会)



《パネリスト》



木村 真介氏

(島根県教育庁社会教育課社会教育主事)
 社会教育は「実践から学び、実践に活かす」ことがとても重要なポイントになる。



有田 昭一郎氏

(島根県中山間地域研究センター専門研究員)
 「まちづくり」の推進に重要なことは、社会教育と地域振興を連動させていくこと。



泉 充規氏 (仁摩公民館 館長)

(仁摩の子見守り隊を例に) 組織づくりや研修会は「公民館」、実践は「まちづくりセンター」と大きく役割分担できる。二つの機関は車の両輪である。



八束 義夫氏

(大田まちづくりセンター センター長)
 (救急医療配布キットを例に) まちづくりセンター事業の充実には、「まちづくり委員会」や「公民館」との連携は欠かせない。

《パネルディスカッション》

テーマ

「公民館とまちづくりセンターが進めるまちづくり」

- ①「社会教育・生涯学習」と「安心安全で活力ある地域振興」
- ②「広域単位」と「旧町村単位」



《コーディネーター》

作野 広和氏 (島根大学教育学部 准教授)

・島根大学教育学部においては共生社会教育講座に所属し、人文地理学を担当。
 ・専門は、農業・農村地理学。過疎・中山間地域論、GIS (地理情報システム)。

公民館は「人づくり」、まちづくりセンターは「地域づくり」をキャッチフレーズに、充実した「まちづくり」に向け、2機関が連携・協力する必要性やその役割分担について、具体的な取組例を挙げながら、コーディネーターの作野先生と4人のパネリストにより話し合いが行われました。

論点について

- ①社会教育と地域振興は連動するものであり、「地域づくり」に「人づくり」は欠かせない。
- ②課題解決のためには、ブロック単位の「公民館」と旧町村単位の「まちづくりセンター」それぞれが役割を整理し、情報を共有することが重要である。など、さまざまな議論が交わされました。

Report 01

山村留学 人づくりの里

日にち 1月12日(土)・13日(日)

場所・主催 三瓶山村留学センター こだま学園

三瓶山村留学センターこだま学園で、1泊2日の冬の自然とくらしの体験「山村留学人づくりの里」事業が開催されました。

大田市内を中心に小学生12名が参加。緑と水の連絡会議からはフランスのお兄さんお姉さんも応援に加わりました。

例年よりも雪が少なかったけれど、雪をさがしてはおおはしゃぎです。



Report 02

ホットスプリング・フェスティバル2013 (第4回 温泉津公民館まつり)

仁摩からきた Team Samurai かっていいよさこい

日時 2月10日(日) 9:30~15:15

場所 温泉津まちづくりセンター

主催 ホットスプリングフェスティバル2013実行委員会



温泉津中学校のプラスバンド



Tシャツが渋いです

今年もホットスプリングフェスティバルが開催され、町内外の多くの人たちが温泉津まちづくりセンターに集まりました。温泉津町の婦人会の方たちがつくったぜんざいや角寿司などの販売が行われたり、舞台では温泉津保育所の子どもたちやダンスの発表などの出し物が披露されたりしました。

Report 03

第31回 島根県 「歩くスキー」フェスティバル

日時 1月26(土)・27日(日)

場所 三瓶山北の原「歩くスキー」コース、国立三瓶青少年交流の家

主催 島根県スキー連盟、島根県、島根県教育委員会、(財)島根県体育協会

三瓶山北の原で「歩くスキー」フェスティバルが開催されました。大田の海沿いでは今年は雪が少なめですが、この日の三瓶山には20センチ以上の雪が積もっていました。

1日目の練習の後、2日目に各コースに別れてスキーや雪遊びをしました。一番長い10kmのコースの子たち、ゴールに近づいてもまだまだ元気でした。

イベント事務局の寺本典則さん（島根県教育庁浜田教育事務所）は「県内外から100人を超える参加者が集まってくれました。大田市からは毎年参加してくれる方が多く、嬉しいです」とおっしゃっていました。



雪が降っていても、子どもは元気



山をつくってソリで急降下!



ゴール間近ですが、まだまだ滑り足りなそう!



転んでもピース

平成24年度

大田市「放課後子どもプラン」指導員、ボランティア等研修会

テーマ **「子どもをしかる基準を考える」**

講師 日野 伸哉 氏（島根大学生涯学習教育研究センター准教授）

日時 平成25年1月29日(火) 9:30～12:00

場所 大田市民センター 4階 集会室

主催 大田市教育委員会

子どもを「おこる」「しかる」「注意する」の違いは、わかりますか? 「しかる」ときの基準はありますか? 今回の研修会では、普段地域の子どもたちと接することの多い「放課後子どもプラン」事業の指導員・ボランティアのみなさんに、このテーマについて自身の基準を振り返っていただきました。

「しかる」ときの基準は人それぞれ。参加者のみなさんは、グループワークを通して、日々子どもたちと接する中で、「子どもの自立」を考えて対応していくことの大切さを実感しました。





あじっ子クラブ

(放課後子ども教室)

代表 千賀 真紀 さん **た**：たいがぁ〜
せ：千賀さん

た：「あじっ子クラブ」ってなあに？

せ：年に4、5回程度、五十猛町の小学生年代の子どもを対象に、いろいろな会を開催しています。奇数月には企画を練って偶数月に開催、というサイクルです。「五十猛ではよくアジがとれる」ということで、この名前なんです。

た：どんな会を開催しちゃうの？

せ：4月には新1年生の歓迎会でとってきた山菜を天ぷらにして食べました。6月には「五十猛探検」や「ホタル観察」、8月には「おもしろ算数教室」を開催したりしています。あと、10月には三瓶祭りでフリーマーケットに参加したり、12月はクリスマス会、最後に卒業生と「お別れドッジボール」をします。何をするかは、企画会で子どもと一緒に決めています。

た：参加者のみなさんの反響は？

せ：「おもしろ算数教室」では、数学の先生をまねいて工作作品をつくりました。子どもたちは楽しんでいましたし、親さんも、お子さんの夏休みの宿題の手助けになっているようで、喜んでいましたよ。

た：今後はどんなグループにしていきたい？

せ：五十猛の子どもたちみんなに参加して楽しんでもらって、もっともっと五十猛を好きになってもらいたいですね。

た：ありがとうございました！



あじっ子クラブの今後の予定

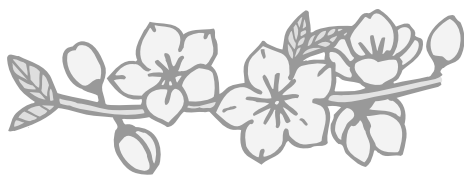
日時 3月23日(土) 10:00~12:00 お別れドッジボール

場所 五十猛小学校体育館 ドッジボールのあとは、みんなでぜんざいを食べます！

お問い合わせ あじっ子クラブ 代表 千賀 真紀 (せんがまき) TEL:0854-87-0929

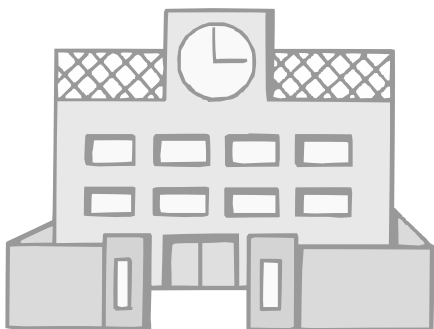
あそび イベント 情報 3・4月

市民の皆様からのイベント情報をお寄せください。今後編集部から取材に伺わせて頂くこともあります。



開校式

朝波小学校開校式
4/8 月曜日 9:30 ~



問合せ 教育委員会 総務課 (Tel. 0854-82-1600)

図書館

■大田市中央図書館

おはなし会

3/23 土曜日 10:15 ~
14:00 ~



0~4才のおはなし会

4/6 土曜日 10:30 ~

ストーリーテリング

4/20 土曜日 14:00 ~

問合せ 大田市中央図書館 (Tel. 0854-84-9200)

■仁摩図書館

上映会「リトル・リンダ」

3/16 土曜日 19:00 ~

おはなし会

4/20 土曜日 10:15 ~

問合せ 仁摩図書館 (Tel. 0854-88-4646)

■温泉津図書館

おはなし会

3/23 土曜日 10:15 ~

おはなし会

4/27 土曜日 10:15 ~

問合せ 温泉津図書館 (Tel. 0855-65-2177)

JAPANの おおだに きています!

I'm in Ohda,
JAPAN now!



ヨアン クレンブル
YOAN KLEINBUYRG さん フランス

第5回



ニックネームは?
ヨーヨー

大田でやりたい事は

大田市の他のNPOやボランティアの交流をもっとしたい。大田であるお祭りやイベントに参加したい。山の仕事もしてみたい。スキーがしたい。

大田に来た理由は?

偶然。海外ボランティアNPOのNICEを通して、ここを選びました。冬なので、北には行きたくないのと、関西は以前住んでいたもので、ほとんど知っている。また緑と水の連絡会議は社会と繋がっているNPOだから。

どこからきたの?

フランスのパリ。生まれはリオン。イタリアの近くで山の近くにある大きな町。映画発祥地で、初めて作られた映画は電車が迫ってくるパニックムービーだった。

大田に来て驚いた所

NPOのボス&七色館の社長。フランスでも普通は社長と社員であんなに仲良く話せない。みんな仲良く話している姿を見て、とても雰囲気が良いと感じました。

大田の好きなところは

ゆきみーる、七色館が好き。どこでも自転車で走れる所。一番好きな場所は川沿いの道。そこから見える三瓶山はとても素敵です。火山があまりなく、三瓶の様な形のシュツとした山はとても魅力的です。

大田の好きなところは

自然が沢山あって素敵です。特に山が好き。

大田でやりたい事は

和太鼓をたたきたい。三瓶を登山したい。

大田に来た理由は?

日本でのボランティアの経験がなかったのと、島根に来た事がなかったから。関東、中部、関西、四国、東北の一部地域は旅行等で行ったところがあるから。

どこからきたの?

フランスのパリ。生まれはパリ郊外電車で15分くらい。通りが車が多くて危ないので、自転車で行く事はありません。

大田に来て驚いた所

グロを見た時とても感動しました。



ミュリエル クロップ

MURIEL CROP さん
フランス

第23回日米草の根交流サミット

しまね大会

2013年7月2日(火) - 7月8日(月)



大田ブロック

ホームステイ先 募集中!!

7月4日~7日(3泊)

日米草の根交流サミット大会とは、日本とアメリカの都市で交互に開催されるホームステイプログラムです。年齢や語学レベルに関係なく、どなたでも参加することができます。ホームステイ体験を通じて、国境を越えた心の交流・文化交流を経験します。

日本語サイト

<http://www.manjiro.or.jp/jpn/summit/shimane/shimane.html>

英語版サイト

<http://www.manjiro.or.jp/eng/summit/shimane/index.html>

お申し込みは…大田市総務部総務課 西村 または 緑と水の連絡会議 まで

大田市 元気な子どもづくり事業

[大田市教育委員会委託事業]

「あそびたいがあ〜」は「遊びたいよね」を意味する大田地方の方言です。大田市内の子どものために積極的に放課後や休日に地域での活動に参加し、地域の「ひと」「もの」「こと」に触れ、体験し、学ぶことで、心豊かでたくましい子どもに育ってほしいという願いが込められています。

発行

NPO法人 緑と水の連絡会議

〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 376-1

☎ 0854-83-7373

[FAX] 0854-84-0262

(ゆきみーる内)

www.iwami.or.jp/ohgreen/ ブログ毎日更新中!

E-mail: ginmori@hotmail.co.jp



2013年3月発行

